

経営理念	【学校経営理念】	子供一人一人の存在を大切にする学校づくり
	【学校経営方針】	一人一人のよさや違いを認める。 子供が学校に来たくなるような授業や行事を行う。 チームで子供の育ちを支える。
	【学校教育目標】	笑顔と「ありがとう」があふれる学校
	【目指す児童像】	思いや考えを表現しようとする子 自分や友だちを大切にする子 あきらめないでがんばる子

短期計画目標<到達指標>		学校の自己評価		学校関係者評価		年度末検証(改善策等)
		達成状況	評価	考 察	評価	
知	1. 教員の教科等指導力の向上 ・各種学力調査の国語・算数の正答率が全国平均以上(全国学力・学習状況調査, 高知県学力定着状況調査, 標準学力調査) ・授業評価アンケート総合平均3.8以上 ・学校生活アンケート「授業に主体的に取り組んでいる。」強肯定70%以上	1. 教員の教科等指導力の向上 1. 学力の向上 (1)授業スタンダードに基づいた授業づくりを実践する。チェックシートを作成し, 学年会の中で毎月入力・確認するようにする。記入した内容をもとに, 部会で進捗管理を行う。 (2)家庭学習の習慣化 ・全校・学年で決められた家庭学習を出し, 直しまで徹底させる。(毎日実施) 【全校で決まっていること】 ＊初読の読解プリント・前学年の漢字プリント・自学(3年生以上)・日記それぞれ週1回				
	2. 1人1台タブレット端末を「日常的」に活用する授業実践・教育活動の推進 ・ICTを効果的に活用した授業づくりの研修や実践交流を通して共通理解を図り, 組織的に取り組んでいる。(授業評価アンケート「ICT機器やクラウドを効果的に活用している。」3.8以上)	2. デジタルドリル活用(のいちっ子タイム・家庭学習) (1)ICTを効果的に活用した授業改善 ・単元計画の提示・配信を行う。 ＊国語科とそれ以外から1教科で実施する。 ＊3年生以上はデータベースで実施する。(3年生は2学期から実施)。 ・データの共有, 共同編集, 他者参照する場面を含む授業の実施 (2)デジタルドリルやカメラ, インターネットなどの日常的な活用 ・各学年…週に1回以上の持ち帰り学習 ・予習や復習, 自主学習等を使用 ・長期休みの持ち帰り学習 ・週2回の, 朝の「タイピングタイム」実施				・
徳	1. 生徒指導の充実 ・学校教育診断アンケート「学校が楽しい」強肯定65%以上 ・道徳意識調査「自分のよいところ」肯定80%以上	1. 生徒指導の充実 (1)子どもの頑張りを可視化する。(月1回以上) (2)ほめ言葉のシャワーの実施。(毎日実施) (3)異学年交流(縦割り班掃除の実施)				
	2. いじめの防止 (1)道徳意識調査「いじめはいけない」肯定100%	2. いじめの防止 (1)学年全体で児童を見て, 問題があれば共有・指導する。(毎週実施) ・学年会で毎週生活のきまりを守れているかの確認をする。(毎週実施)				
	3. 不登校の予防と支援 (1)「ユニバーサルチェック自己診断」5つの事項の実施率の平均3.2以上 (2)新規不登校5名以下	3. 不登校の予防と支援 (1)教室内の1次支援を意識して取り組む。 ・「ユニバーサルチェック自己診断」を用い, 教室内1次支援の状況を前期(7月)・後期(1月)2回確認実施 →学年会の際, 実施できているか確認する。 (2)児童の欠席状況を全教職員が把握できるようにする。気になる児童については, 不登校担当者が中心となり, 早期に支援会を開催し, 組織的に対応策を検討する。 ・不登校が理由で欠席(連続3日以上)した児童の支援会等を開催100%→学年会での児童の情報共有の際, 実施できているか確認する。				

短期計画目標<到達指標>		具体的な取組	学校の自己評価		学校関係者評価		年度末検証(改善策等)
			達成状況	評価	考 察	評価	
体	1. 体力と技能の向上 (1). 体力と技能の向上 ・教員の体育アンケート「やってみようの活動を実施している」、「体育の授業で振り返りの活動を行っている」肯定90%以上。 ・全国体力・運動能力、運動習慣等調査「長座体前屈」、「反復横跳び」及び「立ち幅跳び」について、年間で2回測定を行い、2回目の測定で平均値5ポイント向上を目指す。	1. 体育の授業力向上 (1)体力向上に向けた公開授業を、健康・安全部が実施し、各学年の健康・安全部の教員が学年に広げ、活用方法を提案していく。 ・年間2回 ・健康・安全部の教員は、必ず参観する。 (2)体育の授業の導入で、反復横跳び、立ち幅跳びにつながるアップ運動を行う。 (3)朝の会で、ジャックナイフストレッチを行う。					.
	2. 健康教育 ・生活・体力ががんばりカード「早寝3日以上達成」68%以上。 ・生活・体力ががんばりカード「早起き3日以上達成」70%以上を継続。 ・生活・体力ががんばりカード「メディアの視聴時間2時間以内3日以上達成」70%以上を継続。	2. 健康教育 (1)生活・体力ががんばりカードで生活リズムのチェックを行い、自分の生活を振り返り、改善していけるようにする。 ・生活・体力ががんばりカード年間2回実施 ・身体測定時の保健指導・栄養指導年間各1回実施 (2)家庭への啓発活動を行う。 ・生活・体力ががんばりカードの結果を知らせる。 ・保健日より年間10回以上の発行 (3)全校集会で啓発活動を行う。 ・保健委員会の児童による発表					
基 盤 と な る 体 制 等	1. 安全教育・安全管理の充実 ・保護者用学校評価「学校は防災学習・交通安全・不審者対応などの安全教育に力を入れていると思いますか。」肯定90%以上 ・不審者対応の適切な対応が「できた」の肯定評価65%以上。	1. 防災を中心とした安全教育・安全管理を実施し、組織的な学校安全体制を構築する。 (1)実践力向上を目指した避難訓練や防災学習を毎月実施する。(消防への協力要請) (2)防災学習の前後に保護者へ取組のお知らせをする。避難訓練の結果や、取組の成果・課題についてもすぐーなどで毎月発信する。 (3)外部機関を活用した不審者研修を実施する。 専門的な機関を活用した研修や訓練を2回実施する。					
	2. ワークライフバランスと働き方改革の推進 ・時間外勤務時間月45時間・年360時間以内を遵守できた教員の割合80%以上	4. 学校における働き方改革の推進 (1)教職員の時間外在校時間を学年主任会で確認し、月45時間以内を厳守することを意識する。(月1回) (2)一斉退勤週間を各学年で設定し、見通しをもった働き方を身に付ける。(月1回)					
	3. 教職員のメンタルヘルス対策の推進 ・学校評価アンケート「自分自身の仕事に対し、やりがいを感じている。」教員の割合95%以上	3. 教職員のメンタルヘルス対策の推進 (1)学年主任会で業務改善検討委員会を実施し、行事や会議の削減や効率化を図る。(月1回) (2)業務改善検討委員会で決定したことを実施できているかを学年主任会で確認する。(月1回) (3)若年教職員へのサポート体制として、メンター研修を実施する。(月1回) (4)管理職との個別面談を実施する。(年2回以上)					
	4. 保幼小の円滑な連携・接続の推進 ・各学期に1回以上交流実施 ・保育所や幼稚園の校内研修への参加を年間2回以上 ・新入児童の引継ぎの実施と保幼の先生による参観	4. 保幼小が互いの教育内容を理解し合う取組を実施する。 (1)1学期中に年間の交流予定を各園と相談・決定する。 (2)新任者や各学年から1名以上、保育所での保育士体験や園内研修へ参加する。 (3)引継ぎを行った新入児童の様子を、保育所や幼稚園の先生方に参観してもらい、助言をもらう。 (4)新入児の引継ぎを丁寧に行えるよう、年度内に次年度の引継ぎ日程等を設定する。					

職場風土づくり	不祥事を生じさせない職場の風土づくりの推進 ・自校の教職員による不祥事0の継続 ・服務研修，職員会等での情報共有(毎月1回)を学校長だけでなく，チームとして担うことで，不祥事防止に対する教職員のコンプライアンス意識を高める。	◆不祥事を生じさせない職場の風土づくりの推進 (1)職員会等で自分ごととなる服務研修を実施する。(月1回以上) (2)服務研修には，「諸手当における支給要件の変更及び喪失に関する適切な届出手続」を必ず位置付ける。(年2回以上) (3)学年会で「不祥事防止に関するチェックリスト」を実施する。(毎月1回)					
---------	--	--	--	--	--	--	--